ステレオアンプ

OU-2020Ⅱ

取扱説明書

お買いあげいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。

本機の概要

- 20W十20W（4Ω）の出力でコンパクトなボディーを実現しました。
- L、R（左右）2系統のスピーカーとして接続し、スピーカー系統をL十R、Lのみ、Rのみ、と切替で選択できます。
- スピーカー出力のHIGHインピーダンス側で2段階の出力端子を備え、それぞれをアッテネーターとして利用できます。
- マイク入力は、マイクプラグを差し込んだままでマイクの付属スイッチをON、OFFする事により、音声をセレクト出来ます。
- ソース入力をモノラルに変えるミキシング回路を内蔵しています。

正しくお使いいただくために

設置上のご注意

次のような場所には置かないで下さい。

・湿気の多い所、風通しが悪い所。
・直射日光の当たる所、温度が高い所。
・極端に寒い所。
・スス、油煙等の多い所。
・不安定な台の上や、振動の影響を受け易い所。

使用上のご注意

電源について

・家庭用電源コンセント（AC100ボルト）でお使い下さい。
・電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたりしないで下さい。
・傷のついた配線コードは火災や感電の原因になりますので、使わないでください。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って下さい。

危険防止のために

・ケースは、絶対に開けないで下さい。内部に手を触れると感電することがあり、大変危険です。
・内部に液体をこぼしたり、水没したときは、必ず電源コードをコンセントから抜いて下さい。火災や感電、故障、事故の原因になります。

長い間ご愛用戴くために

・アンプの周囲は放熱を良くするために、雑誌等を詰め込まぬよう注意しましょう。
・アンプの汚れは、中性洗剤を浸した柔らかな布を良く絞ってから拭いて下さい。シンナー、ベンゼン、アルコール等は表面を傷めますので使わないで下さい。

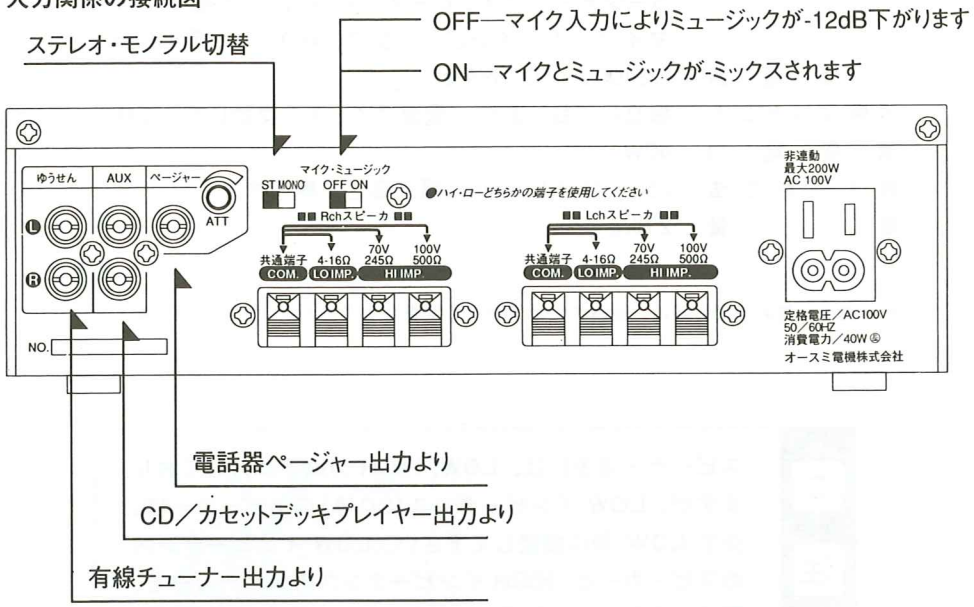
異常や不具合が起きたら

・万一、異常や不具合が起きたときには、すぐに電源を切り電源コードを必ずコンセントから抜いて、当社宛ご連絡下さい。

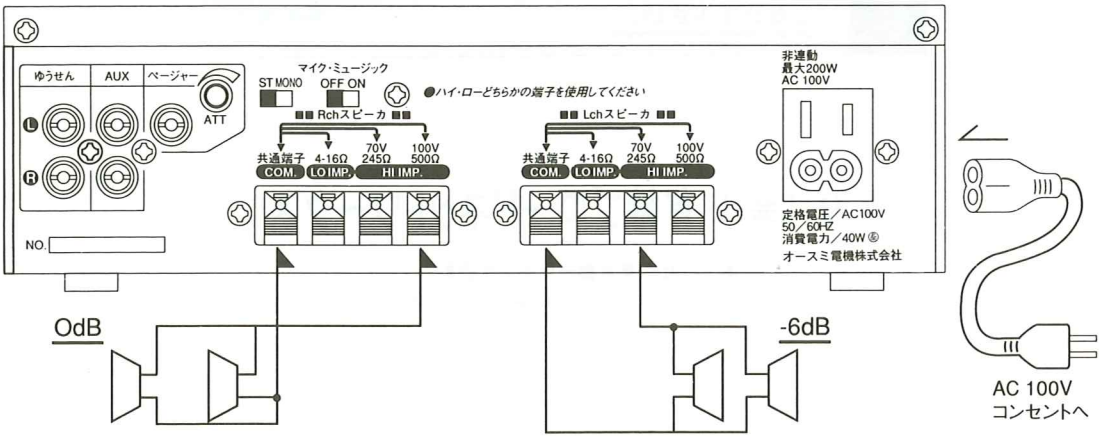
接　続

・接続に当たっては、本機の電源を切ってから、以下の図により行って下さい。
・プラグは最後までしっかり差し込んで下さい。不完全な場合は音が出なかったり、歪みや雑音を生じます。
・接続コードを抜くときはプラグを持って抜いて下さい。コードを持って抜くと断線することがあります。

入力関係の接続図



スピーカーの接続例の図



ハイ・インピーダンススピーカー　　ハイ・インピーダンススピーカー

上記の場合スピーカーは全て3.3kΩとして、0dBのスピーカーからは3Wが得られる。

接続が終わったら

接続に間違いの無いことを確認した後、正面右上のボリュームを左いっぱい（反時計方向）に回しておいてから、電源スイッチを押して下さい。

・電源が入ると、LEDが点灯します。

音を調節するには

音の大きさを調節するには

・**ボリューム**を少しずつ右（時計方向）に回して、音量を調節します。

・いきなり大きな音を出すとスピーカーを壊すことがあります。ご注意下さい。

音質を調節するには

・音質切替スイッチにて行います。

・**標準**の位置では心地よい音質で音楽等を聞くことができます。

・**強調**の位置では低音域と高音域をクリヤーに強調した、歯切れ良い音を楽しむことができます。

入力ソースを選択するには

・入力切替スイッチにて行います。

・ゆうせんにすると有線放送のチューナーからの音楽等を聞くことができます。

・AUXにするとAUXまたはAUXに接続した機器（CD／カセットテープ等）を聞くことができます。

ステレオ・モノラルの切替をするには

・有線を店舗等で専らBGMとして流すような場合、ステレオとして分離せずに左右の音をミックスしてモノラルな音として聞くほうが、聞き易くなります。

・**ステレオ・モノラル**の切替スイッチを**モノラル**にすると、有線がステレオ放送であってもモノラルとして聞くことができます。（スイッチはリヤーパネルにあります）

マイクを使うときには

・マイクは出力600Ω、ON/OFFスイッチ付きダイナミックマイクをおすすめします。

・マイクをジャックに差し込んで、マイクに付属のスイッチをONにします。

・マイク・ボリュームをちょうど良い音量に調節します。右回転で大きくなり、左回転で小さくなります。

・背面パネルのマイク・ミュージックスイッチがOFFの場合はマイクスイッチONでミュージックの音が小さくなります。（-12dB）マイクミュージックスイッチがONの場合はミュージックの音は変化しません。

ページャーを使うときには

・ATTボリュームにて音量を調整して下さい。
前面のボリュームでは音量は変化しません。

スピーカー関係の便利な使い方

スピーカー出力の系統を切替選択するには

・本機はステレオアンプの為、右チャンネルと、左チャンネルのスピーカー端子が出ています。
・L　　：左チャンネル（スピーカー端子L）に接続したスピーカーで聞くとき
・R　　：右チャンネル（スピーカー端子R）に接続したスピーカーで聞くとき
・L＋R：左、右、両方のチャンネルに接続したスピーカーで聞くとき

スピーカー出力端子のインピーダンスとスピーカーの関係

・リヤーパネルにスピーカー端子L（左）とスピーカー端子R（右）があります。
・LOW(4-8Ω）には、インピーダンスが4～8ΩのスピーカーをCOM.とLOIMPの端子間に接続します。
・HIGH（245、500Ω）には、トランス付きのスピーカーを接続します。
(LOWインピーダンスのスピーカーを直接接続することはできません)
・HIGHの各端子の関係を説明します。
➡500の端子：出力インピーダンス500Ωで最大100Vを出力します。
➡245の端子：出力インピーダンス245Ωで最大70Vを出力します。

このことは言い換えれば次の関係になります。

➡500Ωの端子に3.3kΩのスピーカーを接続した場合を0dBとすると
245Ωの端子に3.3kΩのスピーカーを接続した場合を－6dBとなり
以上のことはスピーカーのアッテネーターを内蔵したものと考えられます。

参考例（スピーカーの接続）

スピーカーは下記の本数が接続可能です。(3.3kΩのスピーカー使用として)
➡500Ωの端子には最大6本まで（他の端子には無接続）
➡245Ωの端子には最大12本まで（他の端子には無接続）

組み合わせ接続の例

①500Ωに4本；245Ωに4本；（3.3kΩのスピーカー）
この場合500Ωに接続したスピーカーが最も大きな音（最大3W）で、245Ωに接続したスピーカーの順に音は小さくなります。（－6dB）
②500Ωに3本；245Ωに6本；（3.3kΩのスピーカー）
③500Ωに8本；245Ωに3本；（5kΩのスピーカー）
④500Ωに3本（3.3kΩ）；500Ωに4本（5kΩ）；245Ωに3本（5kΩ）
上記の外にもインピーダンスと出力の許容範囲内でいろいろな組み合わせが可能です。

主な仕様

型　　式	インテグレーテッドステレオアンプ
出　　力	20W＋20W
出力トランス方式	ロー・インピーダンス／ハイ・インピーダンス対応
入　　力	有　線：入力インピーダンス10kΩ　入力感度300mV
	ＡＵＸ：入力インピーダンス10kΩ　入力感度300mV
	ページャー:入力インピーダンス10kΩ　入力感度150mV
	マイク：入力インピーダンス600Ω　入力感度3.2mV
入力電源	AC100V、50／60Hz
予備コンセント	独立しております。(電源スイッチと連動していません。)
消費電力	40W
最大外形寸法	250×75×188mm（幅／高さ／奥行き）
重　　量	2.8kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承下さい。

ご注意

スピーカー端子には、LOW、HIGH の端子が付いておりますが、LOW インピーダンス(8Ω等)のスピーカーは、必ず LOW 側に接続して下さい。LOW インピーダンスのスピーカーと、HIGH インピーダンスのスピーカーを、同時に許容出力の範囲内で使うことも可能ですが、LOW インピーダンスのスピーカーは、HIGH 側には絶対接続しないで下さい。

株式会社 **有線ブロードネットワークス**

本　　社　東京都千代田区永田町2-11-1
山王パークタワー
TEL 03-3509-7111